

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
210011012	未来へつなぐアウトリーチ Outreach activity for the future	家政学部全教 員		共通	1	必修	1年前期

科目の概要

この授業は家政学部の教育目標であるpisa型学力（智）・四大精神（徳）・社会人基礎力（行）を育成し、潜在能力の開発を実践する場として位置付けています。「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」で作成した実施計画案に基づいたアウトリーチ・ボランティア活動に取り組みます。PDCA（P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正）サイクルを活用して、互いの活動を共有して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動など家政学の視点から旭地区の課題を発見し、その課題解決を目指します。最後に1年生と教員全員が参加する成果発表会を実施します。

学修内容	到達目標
アウトリーチ・ボランティアを実践します。 地区を抱える課題を家政学の視点pisa型学力を活用して抽出します。 四大精神、社会人基礎力を発揮します。 PDCAサイクルを活用します。 活動の成果を整理し発表します。	ボランティア先の方とコミュニケーションをとり実践できる。 地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決するpisa型学力を活用できる。 四大精神、社会人基礎力を発揮できる。 PDCAサイクルを活動に活かすことができる。 自己のボランティア活動の成果を到達目標の ~ の内容を観点に発表ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 活動の目的・目標を自己のものとして、教員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行しようとする意識をもつことができる。
	働きかけ力 活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができる。
	実行力 活動の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動を続けることができる。
考え抜く力	課題発見力 活動の目的・目標の達成に向かって、家政学の視点に立って、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案することができる。
	計画力 活動の中で発見する課題を解決する複数の手順（プロセス）を思考し、その中で最善のものは何かを提案することができる。さらに何をいつまでに実行するか計画することができる。
	創造力 活動中に発生する課題解決に対して固定観念や既存の発想にとらわれることなく、家政学の視点に立ち、解決案を発想することができる。
チームで働く力	発信力 自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、グループメンバー、ボランティア先の方とコミュニケーションをとることができる。
	傾聴力 グループメンバー、ボランティア先の方の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、話の内容を理解し、さらに内容を深掘りする質問をすることができる。
	柔軟性 グループメンバー、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に相違点があっても反対するのではなく受容し、自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させることができる。
	状況把握力 自分の立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握することができる。
	規律性 活動の中で、人と人との約束ごとである社会のルールや慣習、チーム内のルールを守り行動することができる。
ストレスコントロール力 活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。	

テキスト及び参考文献

テキスト：毎週、配布するワークシート（PCR）が、皆さんと一緒に作り上げるテキストです。最終的には自分の教科書となります。
参考文献：無限の可能性への道 社会人基礎力を育む学泉ノート

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：家政学で学ぶ科目の社会人基礎力（学修態度）と関連します。

学修上の助言	受講生とのルール
この授業は、家政学の教育目標を達成する4年間の基盤をづくりします。日常より家政学の核となる衣・食・住・消費活動の面から課題を発見し、解決に必要な知識を獲得・活用する習慣を付けましょう。また、日頃から四大精神の実践と物事に挑戦する意識を持ち、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を活用する習慣を付けましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を通して授業内容を理解し次週の授業に臨みます。 課題は提出期限を守ります。 チームメンバーと円滑にコミュニケーションをとります。 体調を整えて、全週出席します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験		①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト			①	
				②	
				③	
				④	
				⑤	
	レポート	60		①	✓
				②	✓
				③	✓
				④	✓
				⑤	
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	30		①		
			②		
			③		
			④		
			⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
総合評価 割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>以下の項目をワークシートに記述できている。</p> <p>ボランティア先の方とコミュニケーションをとり実践できる。</p> <p>地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決するpisa型学力を活用できる。</p> <p>四大精神、社会人基礎力を発揮できる。</p> <p>PDCAサイクルを活動に活かすことができる。</p> <p>自己のボランティア活動の成果を到達目標の - の内容を観点に発表ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> から 全てが、毎週の授業で実行されている・・・S から 全てが、毎週ではないが実行されている・・・A 	<p>以下の項目をワークシートに記述できている。</p> <p>アウトリーチ・ボランティアを実践するにあたり、ボランティア先の方から課題発見と課題解決についてコミュニケーションをとることができている。</p> <p>真心を持って実習に取り組み、メンバー、ボランティア先の方を尊敬し、ボランティア先の課題解決に全力で取り組み(努力)、自分の能力・努力を捧げ(奉仕)、実践させてもらっているボランティア先の方、メンバーに感謝の気持ちを時々行動に現すことができる。</p> <p>社会人基礎力の12の能力要素の【主体性・実行力・課題発見力・創造力・発信力・傾聴力・規律性】は、学泉ノートの評価レベル3以上発揮できている。</p> <p>ボランティア先が抱える課題を家政学の視点から発見し、課題解決の知識を獲得 (pisa型学力) する成果が2つ以上できている。</p> <p>自己のボランティア活動の成果を到達目標 - を観点として、自分の活動について発表できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 2週	<p><学修の目的を把握する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、社会人基礎力、四大精神の確認 ・自己の課題と達成目標、行動目標を明確化 ・実施計画書より活動場所の課題、注意点、実施事項の確認 ・活動に必要な物品の準備 ・ワークシート(PCR)の活用法 	<p>講義・演習</p> <p>スタートアップで作成した実施計画書を元に、グループ活動の内容を再度確認、問題があれば修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が明確に抽出できる ・活動で準備する物、注意する事をワークシートに記述できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか明確にする。 ・実施計画書の再確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書を確認する。 ・自己の課題・達成目標を、ワークシート(PCR)に記述する。 ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力
3週 4週 5週	<p><活動1回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標の確認 ・活動中の疑問点はメモし、活動終了後課題の整理、課題の達成度、学びの整理 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践 ・2回目の活動内容を確認 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習をする。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように行動に移すか明確にする。 ・活動先での自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート(PCR)に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート(PCR)に記述する。 	30	主体性 実行力 働きかけ力 状況把握力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 柔軟性 ストレスコントロール力
6週	<p><活動内容のチェック></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画案と活動内容についてチェックし、課題発見、解決案の見直し ・自己の役割について、問題点を改善 ・活動中のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の振り返り ・2回目の活動を具体化 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返りは実施計画書を基にPDCAの「Check—Action」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画と活動内容がチェックできる。 ・活動2回目ではpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神を発揮させる具体的な行動目標が発表できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2回目の実施計画書を確認する ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法を確認する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2回目の実施内容用を整理し、ワークシート(PCR)に記述する。 	30	主体性 実行力 課題発見力
7週 8週 9週	<p><活動2回目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、グループの達成目標、自分の行動目標を確認して活動 ・疑問点等はメモし、活動終了後課題の整理、課題の達成度、学びを整理 ・活動中のpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神の実践 ・3回目の活動内容を確認 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で、自己の行動目標を宣言して活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話をすることができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート(PCR)に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する。 	30	主体性 実行力 働きかけ力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
10週 11週 12週	<活動3回目> ・実施計画に基づき、グループの達成目標、自分の行動目標を確認して活動 ・疑問点等はメモし、活動終了後課題の整理、課題の達成度、学びを整理 ・活動中のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の実践する ・3回目の活動内容を確認	実習 ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る。 ・実施計画に基づき実習する。 ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する。	・目標達成レベルを口頭で報告できる。 ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる。 ・ボランティア先の方に地区の課題について話をするができる(話かける)ことができる。 ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる。 ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる。	(予習) ・活用に必要な物品、注意する事を確認する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか確認する。 ・ボランティア先の自己の活動課題を把握する。 (復習) ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシート(PCR)に記述する。 ・自己のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシート(PCR)に記述する。	30	課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、状況把握力、柔軟性、規律性、ストレスコントロール力
13週	<活動達成度の評価> ・ボランティア活動の計画・実施・課題設定・目標設定・成果とpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神について振り返る ・次回の活動報告(スピーチ)の原稿を作成	実習 ・振り返りワークシートで、活動内容を整理する。 ・活動計画書と実践活動をPDCAから確認する。	・PDCAサイクルの実施・目標設定・結果・pisa型学力・社会人基礎力・建学の精神について評価できる。 ・スピーチ原稿が作成できる。	(予習) ・自己の活動をPDCAに当てはめ確認し、課題発見と解決方法を整理し、メンバーに発表できるようにワークシート(PCR)に記述する。 (復習) ・自己の成果を発表内容にまとめ、次回の発表に臨む。	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力
14週	<成果発表グループ内> ・全員(前期・後期)のグループメンバーは全員参加する ・発表は1人7分、質疑応答3分 ・15週の発表代表を選出 ・発表代表の原稿をブラッシュアップ	実習 ・発表者は計画書・活動内容・成果・課題とpisa型学力、四大精神社会人基礎力についてわかりやすく伝える。 ・発表を評価する。	・評価はルーブリックでおこない、5段階中、平均3以上とることができる。	(予習) ・自己の成果内容を作成して、次回の発表に臨む (復習) ・自己の発表について振り返り、課題を整理しワークシートに記述する ・メンバーの成果発表から学んだことをワークシート(PCR)に記述する	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力
15週	<成果発表 全体> ・自己のボランティア活動の成果を到達目標 ~ の内容を観点に発表 ・グループ代表が発表 ・聴講する学生は質問と発表内容について気づいたことを記述 ・教員は発表を評価	実習 ・成果発表と聴講をする。 ・発表者に質問をする。 ・発表内容を評価する。	発表者 ・発表はpisa型学力・社会人基礎力・建学の精神を分かりやすくつたえることができる。 聴講者 ・発表より課題を見つけることができる。 ・課題解決法を提案できる。 全員 ・ワークシートを整理することができる。	(予習) ・発表代表者のスピーチ内容をメンバー全員で、ブラッシュアップして臨む。 (復習) ・1~15週のワークシート(PCR)を整理し、自己の成果と課題を明確にして提出する。	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力